

別紙様式

意見交換会実施報告書

令和2年3月6日

登米市議会議員 及川 昌憲 様

第3班 代表者 熊谷 和弘

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和元年10月10日 午後7時00分 ~ 午後8時30分
開催場所	東和総合支所（大会議室）
出席議員	代表者：熊谷和弘 司会者（ファシリテーター）：岩淵正宏 報告者：岩淵正宏 記録者（受付、写真）：佐々木幸一、中澤宏、八木しみ子
参加市民数	7人
実施内容	議会報告 ・ 常任委員会によるテーマの報告
	意見交換 ・ 『地域公共交通』 ・ 『子ども子育て』 ・ 『登米市の産業』

2. 市民の質問・意見等

会場 で 回答 した もの	質 問	
	意 見	
	要 望	
	提 言	
	()	
会場 で 回答 して いな い もの	質 問	
	意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェ方式による意見交換会を今後ももっと開催してほしい。 ・年代別に開催しても良いのでは。 ・ワールドカフェ方式による意見交換会に初めて参加したが市議会議員とざっくばらんに直接話ができ良かった。 ・夜の開催だけでなく、昼間の開催も検討してほしい。 ・PR（開催のお知らせ）がなっていない。 ・良い企画なのに参加者が少なくて残念。 ・意見交換の時間がもっと必要だった。 ・参集方法の再検討を。 ・議員の説明は良く理解はできるが、もっと地域の実態を考えてほしい。 ・楽しく意見交換をすることができた。 ・意見交換会の時間配分も良かった。
	要 望	・今回、意見交換で出た意見を改善につなげるよう、政策を立案してほしい。
	提 言	・各町域ごとに独自のテーマを設定してはどうか。
	()	
その他 特記事項	<p>【地域公共交通】</p> <p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスの料金が定額（100円）で安いこと。 ・デマンドタクシーは高齢者にとって利便性が良い。 ・市民バスの便が良い。 ・住民バス、患者輸送バスが役に立っている。 <p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バスは日曜日は走っていない。 ・市民バスの便数が少ない。 ・市民バスの夜遅い便がない。 ・市民バスの利用者が少ない。 	

- ・運賃が安すぎる。
- ・デマンドタクシーの料金が安い。

将来こうあってほしい どうやったらもっとよくなる

- ・住民バスの利用者が増えるよう運行ルートを見直す。
- ・市民バスの夜遅い便を走らせる。
- ・市民バスの便を全般的に増やす。
- ・デマンドタクシーの導入を推進する。
- ・他自治体との公共交通のアクセスがもっと良くなるように。
- ・自動運転車の活用、推進。

自分たちでできること、地域でできること

- ・運転ボランティアをする。
- ・カーシェアリングをする。
- ・デマンドタクシーの体制づくりに協力する。

【子ども子育て】

良い点

- ・のびのびと育てられる環境がある。
- ・こども園等が整備されてきている。
- ・自然が多い。

改善点

- ・市として地域ごとの結婚相談会など、結婚につながる更なる取り組みが必要。
- ・希望する保育所に入れるようにする。

将来こうあってほしい どうやったらもっとよくなる

- ・登米市内でも子どもを出産できるようになる。
- ・仲人、結婚世話人にもっと頑張って頂く。
- ・高校まで授業料が無料になる。
- ・市内に1校でも良いので特色のある学校ができてほしい。
- ・都市部から子育てのために登米市にも拠点をおいて生活をする人が増えてほしい。

自分たちでできること、地域ができること

- ・地域での子供たちの見守りに協力する。
- ・仲人をかって出る。
- ・学校ボランティアをする。

【登米市の産業】

良い点

- ・米や野菜などの農産物の品質が良い。(おいしい。)
- ・畜産が盛んだ。

改善点

- ・耕作放棄地の利活用が進んでいない。
- ・農業の6次化が遅れている。
- ・林業が産業として停滞している。
- ・農業の後継者が少なく、育成も遅れている。
- ・山間地での新しい産業がほとんどない。
- ・特に若い人たちの働く場がない。
- ・都市との交流の場や機会が少ない。
- ・全てにPR不足。

将来こうあってほしい どうやったらもっとよくなる

- ・多くの若者が起業している。
- ・中山間地の産業が活性化され、観光客などもたくさん来るようになる。
- ・若者の職場が増える。
- ・山林が活性化し、若者が林業に従事するようになる。
- ・廃校となった校舎が新たなビジネスに利活用され、産業の育成につながる。
- ・「登米ブランド」の商品を増やし、更にたくさん売れるようになる。
- ・登米市の産業を全国にPRすることにより、都市との交流が盛んになる。
- ・農業の自動化（IT化）が進み、さらに法人化が推進されることにより、後継者は増える。
- ・地域間連携を進めることにより、交流人口が増え、市内に長く留まるようになる。
- ・「メイドイン登米」が全国NO.1のブランドになる。
- ・1日1億円の農業生産額の達成のため支援が充実し、体制が確立される。

自分たちでできること、地域ができること

- ・地場産品を売って生きがいに頑張り続ける。
- ・地域ブランドとしての米や野菜を作って売る。
- ・起業家を呼んで登米市を拠点にしてもらう。
- ・自ら市内で起業する。
- ・地産都消、地産地消を推進する。
- ・イベントや祭りなどで交流人口を増やす。
- ・山菜の振興を推進する。
- ・1人ひとりが登米市の産品を兄弟、親戚などに送ることにより、農業の振興につなげる。
- ・登米市の産業をSNSで配信する。
- ・観光ガイドを組織化することで増員をはかる。
- ・高齢者の働く場（活躍の場）を確保する（つくる）ことにより後継者の育成につなげる。